

THE 麻雀落ちゲー

SIMPLE 1500シリーズ Vol.46

一萬　操作方法

コントローラの使い方を説明します。

[アナログコントローラ]



方向キー
落ちてくる牌を方向キー左右で横に移動させます。また、方向キー下を押すと牌をすばやく落下させることができます。項目選択のとき、選択カーソルを移動させます。

スタートボタン
ゲーム中、プレーを一時停止させます。ゲームを再開するときは画面に表示された"ゲームを続ける"を選んで、◎ボタンを押してください。

◎ボタン
落ちてくる牌を右回転させます。また、選択した項目の決定を行ないます。

⊗ボタン
落ちてくる牌を左回転させます。また、選択した項目のキャンセルを行ないます。

[コントローラ]



□ボタン、△ボタン、L1ボタン、L2ボタン、R1ボタン、R2ボタン、セレクトボタンは使用しません。

※アナログコントローラをご使用の場合、LEDは常に点灯しています。
バイブレーション機能のオン・オフは"設定"で行なってください。

各部の名称と操作はアナログコントローラと共通です。

ご注意　"PlayStation 2"本体でメモリーカード(SCPH-1020/別売り)を使用するとき

メモリーカード(SCPH-1020/別売り)を使用するときは、必ず"PlayStation 2"本体の⏻(オン/スタンバイ)/RESETボタンが緑色の状態(オンの状態)で差し、⏻(オン/スタンバイ)/RESETランプを赤色の状態(スタンバイ状態)にする前に抜いてください。別売りの"PlayStation 2"専用マルチタップ(SCPH-10090)やマルチタップ(SCPH-1070)を接続してメモリーカードを使用するときも、同様の操作を行なってください。

SLPS 03035

二萬 ゲームの始め方

モードを選択し、◎ボタンを押してください。



条件を満たすと選択可能！

勝抜［勝ち抜き戦モード］

物語モードをクリアすると選択できるようになります。1試合1本勝負で、負けるまで続くサドンデスゲームです。

時間［タイムアタックモード］

段位認定モードで、初段以上を獲得すると選択できるようになります。制限時間以内に、何点とれるかを競います。

物語［ストーリーモード］

コンピューターを相手にひとりで対戦プレーをするモードです。ストーリーにそって5人の敵キャラクターと対戦します。

段位［段位認定モード］

対戦相手なしで、ひとりでひたすら役を揃えていくモードです。練習しながら、自分の実力を判定することができます。

対戦［2人対戦モード］

プレーヤー同士で対戦するモードです。

教室［落雀教室］

ゲームのルールと遊び方を説明します。

記録［記録コーナー］

スコアやリーチの記録などが見れます。

設定［オプション］

振動のオン・オフの切換やゲームの難易度、音出力（ステレオ・モノラル）などの設定を行ないます。

For Japan Only | プレイヤー 1~2人 | メモリーカード 1ブロック

SLPS 03035

遊び方の基本

落雀は、落ちてくる牌をうまく組み合わせて、麻雀の役を作ることが目的のゲームです。ここでは、落雀の遊び方の基本を説明します。

牌を消す

落ちてくる牌を、同じ種類の牌同士（右表を参照）で、縦、横3つ以上つなげると消すことができます。また、特殊牌を使っても牌を消すことができます。牌を同時に4つ以上消すと、連鎖ゲージが表示され、消した数だけラッキーゲージがたまります。対戦プレー時は、連鎖をした数に合わせて、敵陣地におじゃま牌を降らせることができます。おじゃま牌は、牌が裏返っており、縦横にとなりあう牌を消さないと、表にはなりません。



連鎖でゲージをためよう！

⬅コンビネーション消しをすると、より多くのラッキーゲージをためることができます。

牌の種類

マンズ 

一萬から九萬と書かれた牌です。

ソーズ 

竹のようなマークが描かれた牌です。

ピンズ 

丸いマークが描かれた牌です。

字　牌 

東、南、西、北（四風牌）と白、發、中（三元牌）をまとめて字牌といいます。

特殊牌 

特殊牌は、矢印の方向にある牌を消す、おじゃま牌を表にするなど、それぞれ牌を消すための役割を持っています。組を作ることはできません。

組を揃える

麻雀の役を作るには、まず組を4つ揃えなければなりません。組にはコーツ、シュンツ、カンツの3種類の作り方があります。右の表を参考にしてください。また、役の作り方は裏面の麻雀役紹介を参考にしてください。



⬆麻雀の役は、この組の揃え方で変化していきます。よく考えながら組を揃えてください。

牌の種類

コーツ  （例）

同じ牌を3つ並べて作ります。

シュンツ  （例）

連続した数字を並べて作ります。

カンツ  （例）

同じ牌を4つ並べて作ります。

リーチイベントで役を作る

組が4つできると、役を完成させるためのリーチイベントが自動的に始まります。リーチイベントは、雀頭を作るためのイベントです。麻雀の役は、4つの組とひとつの雀頭がセットになって、はじめて完成します。リーチイベントが成功すれば役が完成し、得点計算になります。ノーマルリーチ成功でロンあがり、スペシャルリーチ成功でツモあがりになります。リーチイベントが失敗すると、揃えた組がひとつ消されて、ゲームが続けられます。



⬅リーチにはいろいろな種類があります。背景のふすまが閉じたままならノーマルリーチ。開けばスペシャルリーチです。



➡リーチ阻止のマークが出た瞬間に◎ボタンを押すと、自分のラッキーゲージを消費することで相手のリーチを邪魔することができます。

ゲームのルール1

物語モード、対戦モード、勝ち抜きモードのルールを説明します。



物語モード、対戦モード、勝ち抜きモードのルールは基本的に共に同じです。対戦相手よりも先に役を作り、相手よりも高い点数で上がれば勝ちになります。1試合3本勝負のうち2敗しても、最終的な合計得点で相手を上回っていれば勝ちです。ただし、たとえば1本目の時点で持ち点が0点以下にされた場合は、その時点でゲーム終了になります。また、勝ち抜きモードは1試合1本勝負なので、負けた時点でゲームオーバーです。

1. **ラッキーゲージ** 連鎖をするとゲージがたまり、リーチが発展しやすくなります。
2. **牌積みエリア** 落ちてくる牌を組み合わせるために使うエリアです。
3. **フリテンタイマー** お猿さんが床に降りきるまでに組を作らないとフリテンになります。
4. **組ストックエリア** 上段に1プレーヤー、下段に2プレーヤーの作った組がストックされます。
5. **スコアボード** 自分の点数と、現在自分が親（東家）か子（南家）かを表示します。

フリテンに御用心！

フリテンとは麻雀のルールにある禁止事項のことです。落雀では、画面中央のロープにぶら下がるお猿さんが、床に降りきるまでに組を作らないとフリテンになります。フリテンになると負けが決定し、特定の点数が奪われます。

ゲットタイムを有効活用

牌を積みすぎて、牌積みエリアをオーバーすると、ゲットタイムイベントが始まります。ゲットタイムイベントが発動すると、ストップしてしまった相手の牌積みエリアから、自分の好きな牌を3つまで奪うことができます。

ゲームのルール2

段位認定モード、タイムアタックモードのルールを説明します。





段位認定モード、タイムアタックモードは、対戦相手に邪魔されず、ひとりでプレーするモードです。獲得点数に合わせて段位が認定されます。時間が経過するごとに、落ちてくる牌のスピードがあがったり、下からおじゃま牌がせり上がって来たりします。牌を積み過ぎて牌積みエリアを越えてしまうとゲームオーバーです。

- **1 段位認定証** 獲得した点数と、点数に合わせた段位が表示されます。
- **2 組ストックエリア** 組をストックします。自分が親（東家）か、子（南家）を表示します。
- **3 タイマー** 段位認定モード時のみ表示されます。残り時間が多いほど、役を完成させたときのタイマーボーナスが大きくなります。
- **4 制限時間** タイムアタックモード時のみ表示されます。99からはじまり0になるとゲームストップ。獲得した点数に合わせた段位認定が行われます。

タイマーボーナスを狙え！

段位認定モードでは、役を早く作ったときにボーナスがつきます。タイマーの残りが多いほど、上がったときの得点に乗算されるポイントが高くなります。あまり狙いすぎずに、早めに役を作るのが、高段位獲得のコツです。



⬅組が4つ完成するとリーチイベントが始まります。段位認定モードのリーチイベントはほかと違い、スロット形式になっています。

麻雀役紹介

落雀で揃えることができる役を紹介します。役の名前が同じでも、普通の麻雀とは揃え方が異なるものがありますので注意してください。

一翻

立直（リーチ）

落雀では組が4つ完成した時点で、自動的にリーチイベントが発生します。リーチイベントが成功したとき、つまり役が完成したときは、かならずこの役がつきます。

平和（ピンフ）



落雀独自の揃え方をします。役を構成する4つの組のすべてがシュンツのときにこの役がつきます。ただし雀頭が、オタ風牌（東場や南場、東家や南家などによって役牌になり得る牌）になるとき、この役はつきません。

ドラ

 ←ドラ表示牌  ←ドラ

ドラ表示牌の次の牌をドラと言います。たとえばドラ表示牌が一萬なら、二萬がドラになります。完成した役のなかに、含まれている数分だけ、この役がつきます。

河底撈月（ハイテイロン）

落雀独自の揃え方をします。積み牌エリアの一番上まで牌を積んでしまった状態でリーチが発生し、ロンあがり（2人対戦プレーの場合ノーマルリーチが成功）したときにこの役がつきます。

二翻

全帯么（チャンタ）



完成した役の雀頭を含むすべての組が、1、9、字牌のいずれかを含めた形で揃えられているときにこの役がつきます。

対々和（トイトイ）



落雀独自の揃え方をします。揃えた4つの組がすべてコーツのときで、ノーマルリーチであがるとこの役がつきます。同じ条件で、スペシャルリーチであがると四暗刻という役になります。

小三元（ショウサンゲン）



白、發、中の三元牌のうちの2種類でコーツを作り、残り1種類で雀頭を作るとこの役がつきます。4組中ほかの2組は、コーツでもシュンツでもかまいません。

混老頭（ホンロウトウ）



完成した役の雀頭を含むすべての組が、1、9、字牌のコーツで作られているときにこの役がつきます。

一気通貫（イッツウ）



マンズ、ピンズ、ソーズのいずれかの牌で、1、2、3のシュンツ、4、5、6のシュンツ、7、8、9のシュンツを揃えたときにこの役がつきます。

三翻

純全帯么（ジュンチャン）



六翻

清一色（チンイツ）



完成した役の雀頭を含むすべての組が、マンズ、ピンズ、ソーズのいずれか1種類のみを使って作られているとき、この役がつきます。

役満貫

四暗刻（スーアンコウ）



落雀独自の揃え方をします。4組のコーツを完成させた状態でリーチが発生し、スペシャルリーチが成功したときにこの役がつきます。ノーマルリーチだと、三暗刻と対々和の複合役になります。

緑一色（リューイーソー）



完成した役が雀頭を含め、ソーズの2、3、4、6、8と、三元牌の發だけで作られているときにこの役がつきます。

字一色（ツーイーソー）



完成した役が雀頭を含め、東、南、西、北、白、發、中の、いわゆる字牌のみで作られているときにこの役がつきます。

大三元（ダイサンゲン）



完成した役のなかに白、發、中の三元牌のコーツが3つとも含まれているときにこの役がつきます。

四喜和（スーシーホー）



完成した役が東、南、西、北の四風牌で作られているときにこの役がつきます。4組中3組がこの四風牌のコーツで作られ、残りひとつの四風牌が雀頭になるときは小四喜。4組とも四風牌のコーツで揃えられているときは大四喜といいます。どちらも同じ点数です。

清老頭（チンロートー）



完成した役のうち、4組ともがマンズ、ピンズ、ソーズの1か9のコーツで作られ、さらに雀頭も、いずれかの1か9で作られたときにこの役がつきます。

九連宝燈（チュウレンポウトウ）



完成した役が、マンズ、ピンズ、ソーズのいずれか1種類の牌で、1と9のコーツがそれぞれ1組ずつ、あとは2、3、4、5、6、7、8の牌を一枚ずつ揃え、いずれかの牌が雀頭になっているときにこの役がつきます。

大車輪（ダイシャリン）



落雀独自の揃え方をします。ピンズだけを使い、1から7か、2から8か、3から9の牌を、2枚ずつ揃えて役を作ったときに、この役がつきます。

四槓子（スーカンツ）



完成した役が、4つのカンツと雀頭で作られているときに、この役がつきます。

天和（テンホー）

落雀独自の揃え方をします。組を作る以外で、積み牌を1個も消さずに4つの組を作り、スペシャルリーチが成功したときにこの役がつきます。ただし“設定”で、“スタート時の組数”を設定している場合、この役は作れません。

地和（チーホー）

落雀独自の揃え方をします。組を作る以外で、積み牌を1個も消さずに4つの組を作り、ノーマルリーチが成功したときにこの役がつきます。ただし“設定”で、“スタート時の組数”を設定している場合、この役は作れません。

六萬 落雀と麻雀の違い

落雀は基本的に麻雀のルールにそっていますが、落ちものパズルにするため、若干のルール変更を行なっています。ご注意ください。

親（東家）、子（南家）の移動

対戦プレーのときはゲーム開始時にふられるサイコロで1本目の親（東家）が決定します。親になった人が1本目の試合に勝てば親はそのまま継続。負けた場合は親が移動します。つまり、親が勝てば親を継続し、負ければ交代になります。

同じ牌が4枚以上登場します

本物の麻雀では、まったく同じ牌が4枚ずつ登場します。しかし落雀では、対戦プレー時に限り最高7枚登場することがあります。たとえば東のコーツ(3枚1組のもの)を揃えているときに、リーチイベントで、東の雀頭（2枚1組のもの）が揃ったときなど、同じ牌が5枚登場することになります。

落雀では作れない役があります

落雀では、本物の麻雀にある役のうち、七対子（チートイツ）、国士無双（コクシムソウ）など、ルール上どうしても作れない役があります。また、揃え方が異なる役もあります（麻雀役紹介を参照）。そのほか、リーチイベントが失敗したとき、本物の麻雀では、牌を並べ替えることで、じつは役が完成するという場合がありますが、落雀ではそれができないなどの違いがあります。

門前清自模和（メンゼンツモ）

落雀独自の揃え方をします。スペシャルリーチで役を完成させたときにこの役がつきます。

断么九（タンヤオ）



完成した役のなかに、1と9と字牌が1個も含まれていないときにこの役がつきます。

役　牌（ヤクハイ）



白、發、中のいずれかをコーツで揃えたときにこの役がつきます。また、場が東場のときか、自分が親（東家）のときに東のコーツを揃えたり、場が南場のときか、自分が子（南家）のときに南のコーツを揃えてもこの役がつきます。また、その両方を兼ね備えている場合は、ダブ東、ダブ南という役がつきます。

一盃口（イーペーコー）



同じ種類の牌を、同じ順番のシュンツで2組揃えたときに（たとえばマンズを1、2、3、1、2、3というように揃える）この役がつきます。

海底撈月（ハイテイツモ）

落雀独自の揃え方をします。積み牌エリアの一番上まで牌を積んでしまった状態でリーチが発生し、ツモあがり（2人対戦プレーの場合スペシャルリーチが成功）したときにこの役がつきます。

三暗刻（サンアンコウ）



完成した役のうち、3つの組がコーツで出来ているときにこの役がつきます。

三連刻（サンレンコウ）



一盃口のように、同じ種類の牌で、同じ順番のシュンツを3組作ったときにこの役がつきます。落雀で三連刻を揃えると、三暗刻との複合役になります。

三色同刻（サンショクドウコウ）



マンズ、ピンズ、ソウズのそれぞれの牌で、同じ牌のコーツを揃えるとこの役がつきます。落雀で三色同刻を揃えると、三暗刻との複合役になります。

三色同順（サンショクドウジュン）



マンズ、ピンズ、ソウズの3種類の牌を使い、それぞれで同じ順番のシュンツを揃えるとこの役がつきます。

三槓子（サンカンツ）



完成した役の4組中3組がカンツで出来ているときにこの役がつきます。

完成した役の雀頭を含むすべての組が、1か9の牌のみで作られたときにこの役がつきます。

混一色（ホンイツ）



完成した役が、マンズ、ピンズ、ソーズのうち、いずれか1種類の牌と字牌のみで作られたときにこの役がつきます。

二盃口（リャンペイコウ）



一盃口を2つ揃えた役です。完成した役のなかに、同じ種類の牌を同じ順番のシュンツで2組揃えたものが、さらに2組あるときに、この役がつきます。

“翻”ってナニ？

麻雀の役には、それぞれ位（くらい）があります。その位を示すのが“翻”です。翻の数が多いほど、揃えるのが難しく、点数も高くなります。麻雀の役は、複合することができ、たとえば三色同刻などは三暗刻との複合役になります。得点計算時は、二翻＋二翻＝四翻になり、より高い点数になります。また、役のなかでも“役満貫”という位の役は、翻に直すと十三翻にもなり、点数もずば抜けて高く、揃えるのも極めて難しい役です。

使用上のご注意

●このディスクは"PlayStation"規格のソフトウェアです。日本国内仕様の"PlayStation"および"PlayStation 2"で使用できます。このディスクは NTSC | J あるいは FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY の表記のある日本国内仕様の"PlayStation"および"PlayStation 2"にのみ対応しています。海外仕様の"PlayStation"では使用できません。他の機種でお使いになると、機器などの故障の原因や耳や目などの身体に悪い影響を与える場合がありますので絶対におやめください。●ソフトウェアの「解説書」および、お使いになる機種の「取扱説明書」「安全のために」をよくお読みの上、正しい方法でご使用ください。●このディスクを"PlayStation"および"PlayStation 2"本体にセットする場合は、必ずレーベル面（タイトルなどが印刷されている面）が見えるようにのせてください。また、"PlayStation"本体にセットする場合は、中央部分を軽く押し込み、ディスクを安定させてください。●プレイ終了後"PlayStation"本体からディスクを取り出す場合は、本体のオープンボタンを押し、ディスクの回転が完全に止まったのを確認してから行ってください。回転中のディスクに触れると、けがをしたりディスクを傷つけたり本体の故障の原因になりますので、絶対におやめください。●直射日光があたるところや暖房器具の近くなど、高温のところに保管しないでください。湿気の多いところも避けてください。●ディスクは両面とも手を触れないように持ってください。●紙やテープをディスクに貼らないでください。●ディスクにペンなどで書きこみをしないでください。●指紋やほこりによるディスクの汚れは映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。●ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心部から外周部に向かって放射状に軽くふいてください。●ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。●ひび割れや変形したディスク、あるいは接着剤などで補修されたディスクは誤作動や本体の故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。●プレイ終了後はディスクをケースに戻し、幼児の手の届かない場所に保管してください。ケースに入れずに重ねたりななめに立てかけたりすると、そりや傷の原因になります。●このディスクの中心孔に、指など身体の一部を故意に挿入しないでください。抜けなくなったり、身体を傷つけることがあります。●このディスクを絶対に投げないでください。人体その他を傷つける恐れがあります。●ケースやディスクの上に、重いものを置いたり落としたりすると、破損しけがをすることがありますので絶対におやめください。●お客様の誤ったお取り扱いにより生じたキズ、破損などに関しては補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。●"PlayStation"および"PlayStation 2"本体を液晶方式以外のプロジェクションテレビ（スクリーン投影方式テレビ）にはつながないでください。残像現象（画面の焼き付き）が起こることがあります。特に静止画を表示しているときは、残像現象が起こりやすくなります。●ソフトウェアによっては"メモリーカード"や"PocketStation"が必要な場合があります。詳細はソフトウェアの「解説書」などで確認してください。

健康上のご注意

●プレイする時は健康のため、1時間ごとに約15分の休憩を取ってください。●疲れている時や睡眠不足の時はプレイを避けてください。●プレイする時は部屋を明るくし、なるべくテレビ画面から離れてください。●ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返すテレビ画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。プレイ中の画面を見ていてこのような症状や、めまい・吐き気・疲労感・乗り物酔いに似た症状などを感じた場合は、すぐにプレイを中止し、医師の診察を受けてください。●お使いになる機種の「取扱説明書」「健康のためのご注意」をよく読んで正しくご使用ください。